



平成26年10月31日

各位

上場会社名 ソマール株式会社  
 代表者 代表取締役社長 曾谷 太  
 (コード番号 8152)  
 問合せ先責任者 IRC部長 牧野 光  
 (TEL 03-3542-2160)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,430	△360	△370	△380	△19.55
今回修正予想(B)	11,806	△506	△625	△535	△27.53
増減額(B-A)	376	△146	△255	△155	
増減率(%)	3.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	11,643	△551	△525	△426	△21.94

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,290	△380	△430	△440	△22.64
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	23,538	△1,040	△987	△1,601	△82.39

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,488	△56	△64	△3.29
今回修正予想(B)	11,228	113	△567	△29.22
増減額(B-A)	△259	169	△503	
増減率(%)	△2.3	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	11,508	94	△7	△0.37

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,062	8	△10	△0.51
今回修正予想(B)	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	22,888	166	△2,980	△153.32

## 修正の理由

(第2四半期累計期間)

当第2四半期累計期間の連結及び個別の業績は、各事業セグメントにおける業況の濃淡が入り交じる中で、自動車部品業界向け高機能樹脂製品などの主力製商品の販売が堅調に推移して全体をカバーしたことで、売上高は平成26年5月15日公表の予想数値に近い結果となる見込みです。

しかしながら、連結子会社ソマテック株式会社の業績に限っては、開発コーティング製品の販売が競合激化の市場環境下であって進展が大幅に遅れ、積極的な営業活動にもかかわらず販売目標を大きく下回っているため、同社の利益面では投資負担の重さと生産コストの高止まりとが重なって予想以上の大きな損失を計上する見込みです。それ故、当社の連結及び個別の業績において特別損失などの計上を余儀なくされることとなり、利益面では連結及び個別の予想数値を大きく超える損失計上となる見込みとなりました。とりわけ、ソマテック株式会社が既に債務超過となっており、当社から同社への長期貸付金に対する回収不能見込額が膨らむこととなるため、当第2四半期の個別決算において、同社の四半期純損失見込額に相当する額を関係会社貸倒引当金繰入額として当社の特別損失に計上いたします。そのため個別業績においても、利益面では経常利益段階までは公表予想数値を上回る見込みではありますが、特別損失の計上で、最終利益の段階では予想数値を大きく超える四半期純損失となる見込みです。

(通期)

ソマテック株式会社の業績が、前年度に引き続いて当第2四半期においても当社の連結及び個別の業績を大きく悪化させる見込みであり、かつ今後の大きな業績改善の見通しも難しい状況であるため、当社は、ソマテック株式会社の事業そのものを抜本的に見直して当社グループ全体の事業基盤の再構築を図るため、現在そのための諸施策の検討を鋭意進めております。

従って、平成27年3月期通期の連結及び個別の業績予想につきましては、その諸施策の検討結果に大きく左右されることが予想され、現段階では業績予想を合理的に算定することが困難なことから、未定といたしました。今後、通期業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

こうした状況を踏まえ、平成26年5月15日公表の平成27年3月期第2四半期(累計)並びに通期の連結及び個別の業績予想を上記の通り修正いたしました。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上